

報道関係者各位

2010 年 12 月 9 日

JAPAN 国際コンテンツフェスティバル(コ・フェスタ)実行委員会

～ コ・フェスタ 2010 オリジナルイベント ～

## 「劇的 3 時間 SHOW」 第 2 回出演者決定！

1 月 28 日(金)開催 是枝 裕和監督×仏女優ジュリエット・ビノシュ

12 月 14 日(火)より観覧事前申込み受付を開始

～ 台湾の名匠 ホウ・シャオシェン監督も第 3 回に決定 ～

JAPAN 国際コンテンツフェスティバル(コ・フェスタ)は、コンテンツ業界のトップで活躍するプロフェッショナルが、自身の成功につながった技術や経験、クリエイティビティ(創造性)やコンテンツ観などを 3 時間使い、自由に表現するライブトークイベント「劇的 3 時間 SHOW」の第 2 回出演者に、是枝 裕和監督と仏女優ジュリエット・ビノシュ氏が決定しましたことをお知らせします。開催は 1 月 28 日(金)、観覧の事前申込み受付は 12 月 14 日(火)より開始します。

是枝 裕和監督とジュリエット・ビノシュ氏は、国際的な映画づくりについてトークセッションを行います。是枝 裕和監督は、カンヌ国際映画祭男優賞を受賞した映画「誰も知らない」などを手掛け、国内外でも高い評価を得ている日本人映画監督です。ジュリエット・ビノシュ氏は、「ショコラ」(アカデミー賞主演女優賞ノミネート)ほか多数の名作に出演し、今年は映画「トスカーナの贋作」(2011 年 2 月 19 日日本公開予定)でカンヌ国際映画祭最優秀女優賞を受賞するなど、フランスを代表する国際派女優です。かねてからは是枝映画ファンを公言し、2009 年カンヌでの「空気人形」ワールドプレミアにも駆けつけたというジュリエット・ビノシュ氏。今回の出演については、「映画やアートについて語り合い、是枝監督の世界観をより深く知ることができるなら、喜んで」と快諾され、夢の対談が実現しました。

なお、第 3 回出演者に、ホウ・シャオシェン監督が決定しました。ホウ・シャオシェン監督は、ヴェネチア国際映画祭にてグランプリを受賞した「悲情城市」をはじめ、日本の街角や車窓風景などの映像美が世界中で高い評価を得ている映画「珈琲時光」などを手掛ける、台湾の名匠です。開催日時・場所など詳細については、近日中に公式ホームページにて発表します。

「劇的 3 時間 SHOW」は、コ・フェスタのオリジナルイベントで、次世代のコンテンツ産業を担う人材の誕生、育成に貢献することを目的としており、今年は 2010 年 12 月から 2011 年 3 月まで開催。5 名の国際映画監督が登場し、今後 2 名の監督を発表予定です。出演者のクリエイティブな感性に直接かつ 3 時間触れることは、これからのコンテンツ産業を支える若い人たちにとってエキサイティングで貴重な体験につながり、大いなる刺激や気付き、そして学びの機会になることは間違いありません。

劇的 3 時間 SHOW  
5 人の国際映画監督が語る  
PASSIONATE 3 HOUR TALK SHOW  
5 INTERNATIONAL MOVIE DIRECTORS  
2010/12-2011/3  
入場無料  
www.gak13.jp

以上

参考資料

「劇的 3 時間 SHOW -5 人の国際映画監督が語る-」 第 2 回開催概要

- 開催日時: 1月28日(金) 18時30分~21時30分(開場:18時00分)
- 開催場所: スパイラルホール 住所:東京都港区南青山5-6-23 スパイラル3F

■ 出演者(敬称略):

➢ 是枝 裕和

1962年、東京生まれ。87年に早稲田大学卒業後、テレビマンユニオンに参加。主にドキュメンタリー番組を多数演出する:「しかし…」(91、フジテレビ、ギャラクシー賞優秀作品賞)、「記憶が失われた時」(96、NHK、放送文化基金賞)他。95年、初監督映画『幻の光』で第52回ヴェネチア国際映画祭金のオゼツラ賞を獲得。第2作『ワンダフルライフ』(98)は、世界30ヶ国、全米200館で公開され、現在アメリカでリメイク進行中。『誰も知らない』(04)でカンヌ国際映画祭最優秀男優賞(柳楽優弥)受賞。私小説風のホームドラマ『歩いても 歩いても』(08)は国内外で高く評価され、特にフランスで異例のロングランヒットとなる。同年、初ドキュメンタリー映画『大丈夫であるように-Cocco 終わらない旅』を発表。09年、『空気人形』が第62回カンヌ国際映画祭「ある視点」部門正式出品、官能的なラブ・ファンタジーという新境地を拓き、絶賛される。最新作『奇跡』が、2011年初夏公開予定。今、最も世界が注目する日本人監督の一人である。



➢ ジュリエット・ビノシュ

1964年、パリ生まれ。父が彫刻家・演出家、母が女優の芸術一家に育つ。ジャン＝リュック・ゴダール監督『ゴダールのマリア』(85)で注目され、『存在の耐えられない軽さ』(88)以降、国際的に活躍。レオス・カラックス監督『ボンヌの恋人』(91)は、日本でも大きな話題となる。『トリコロール・青の愛』(93)でゴールデン・グローブ賞主演女優賞ノミネート、『イングリッシュ・ペイシエント』(96)でアカデミー賞助演女優賞受賞、ジョニー・デップと共演した『ショコラ』(00)でアカデミー賞主演女優賞ノミネート。アッバス・キアロスタミ監督の最新作『トスカーナの贗作』(10)で、2010年カンヌ国際映画祭最優秀女優賞を獲得(2011年2月19日日本公開予定。配給ユーロスペース。)名実共にフランス映画界を代表する国際派女優である。また、近年は画家としても活躍する一方、2008年より気鋭の英国人ダンサー、アクラム・カーンと共にダンスの世界公演を行うなど、新たな表現の可能性を広げている。

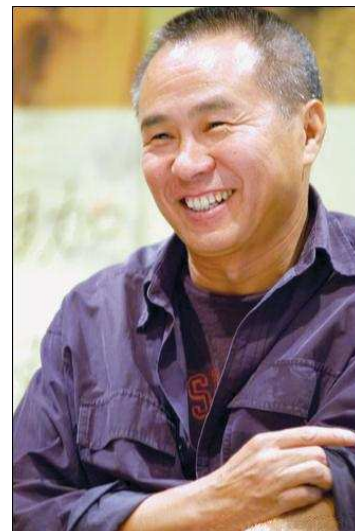


- 入場料金: 無料
- 参加申込み: 公式ホームページから事前応募受付(申込多数の場合は、抽選)
- ホームページ: <http://www.geki3.jp> (PC、モバイル共通)

NEWS RELEASE

■ ホウ・シャオシェン監督プロフィール

1947 年、広東省梅県生まれ、幼少の頃台湾に移住。1980 年、監督デビュー。ナント三大陸映画祭グランプリ受賞作『冬冬の夏休み』(84)、『恋恋風塵』(87)等、“台湾ニューシネマ”の旗手として注目を集める。89 年、『悲情城市』で中国圏映画として初めてヴェネチア国際映画祭グランプリ受賞。『戲夢人生』(93)でカンヌ映画祭審査員賞受賞。続く『好男好女』(95)で「歴史三部作」を完結後、『憂鬱な樂園』(96)、『フラワーズ・オブ・シャンハイ』(98)、『ミレニアム・マンボ』(01)、小津安二郎の生誕 100 年を記念した『珈琲時光』(03。青窈・浅野忠信主演)、『百年恋歌』(05)と、常に新境地を開拓。07 年、アルペール・ラモリス監督の不朽の名作『赤い風船』(56)へのオマージュとして、『ホウ・シャオシェンのレッド・バルーン』を製作。2005 年東京国際映画祭にて第 2 回黒澤明賞受賞。台湾監督協会会長。最新作『聶隱娘』(妻夫木聡出演)を準備中。



- ※ 今後の出演者、開催場所などの開催概要は、順次ホームページにて発表させていただきます。
- ※ イベントは事情により変更・キャンセルとなる可能性があります。予めご了承ください。

報道関係者の皆様には、「劇的 3 時間 SHOW」当日のご観覧・ご取材が可能となっております。詳細につきましては、下記お問い合わせ先：株式会社トレイントラックスまでご連絡ください。

**【本件に関する報道関係者からのお問い合わせ先】**

株式会社トレイントラックス(劇的 3 時間 SHOW 広報代理)

担当: 山角・宮本・小牧

TEL: 03-5738-4177

FAX: 03-5738-4178

E-MAIL: [pr@traintracks.jp](mailto:pr@traintracks.jp)